

長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の概要をお知らせします。

市民一人ひとりの力を合わせてごみの減量に取り組みましょう!

長岡市廃棄物減量等推進審議会 会長 **和田 裕**
(長岡造形大学 造形学部長 教授)



森市長に処理基本計画を報告しました
(H18.12.22)

ごみの問題は、私たちの大切な生活環境を守っていくうえで、もっとも重要な取り組みのひとつとなっています。

このたび、長岡市全域から選出された廃棄物減量等推進審議会委員の皆様のご慎重審議を経て、環境への負荷の低減が図られた循環型社会の実現を目指す「長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」がまとまりました。

これからは、全市民が一体となり、この計画に沿ってごみの減量とリサイクルの推進に向けて取り組んでいきましょう。

市民の皆様からのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の内容は、長岡市ホームページの各種計画・事業

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/kakusyu/kankyuu/gomisyori-keikaku.html>

に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の6つの重点施策と達成目標

平成20年4月から市全域の「ごみの分け方と出し方」を統一します。

古紙類、プラスチック容器包装材等の資源化を徹底します。

生ごみ、枝葉・草などの自家処理の普及・浸透をすすめます。

達成目標 (基準=平成17年度実績値)

平成18年度から平成27年度までの10年間で
市民1人1日当たりの
ごみと資源物の排出量を 6%減量します。
そのうち処分するごみを 31%減量します。

バイオマス技術活用による生ごみの資源化を推進します。

「3R」の浸透と一人ひとりのライフスタイルを見直します。

事業所におけるごみの減量とリサイクルを推進します。